

経営比較分析表（令和元年度決算）

山形県 遊佐町

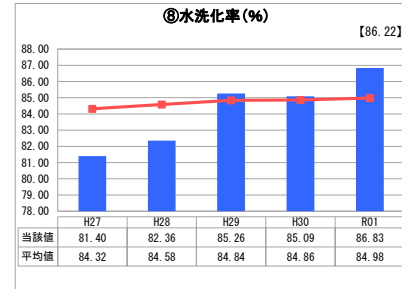
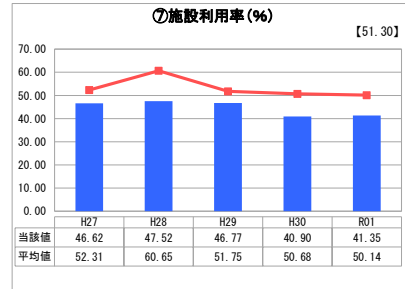
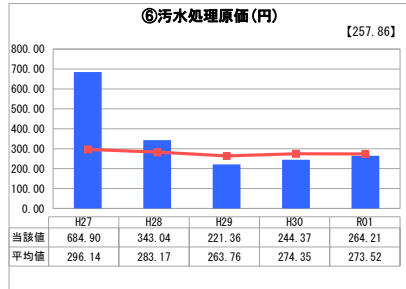
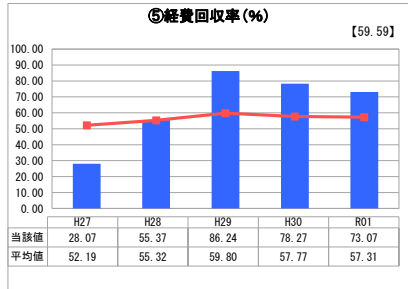
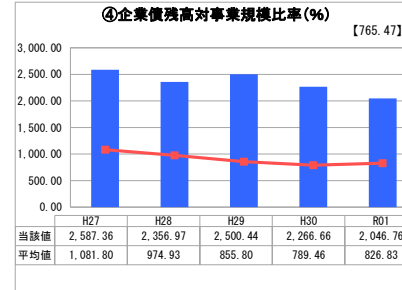
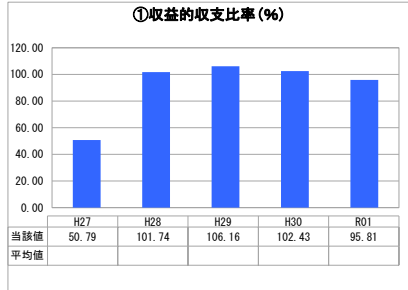
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	10.83	99.69	3,740

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,655	208.39	65.53
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,466	1.15	1,274.78

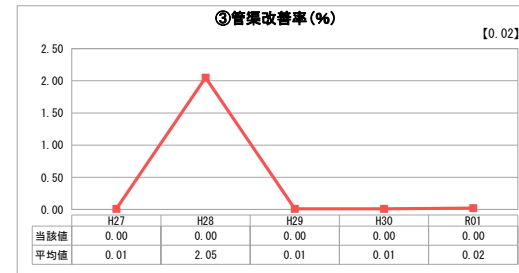
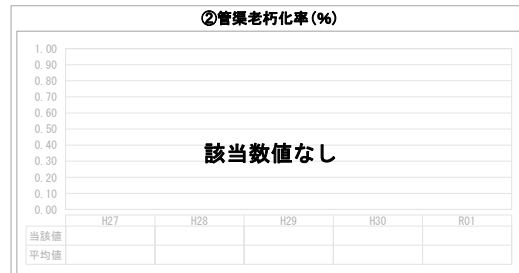
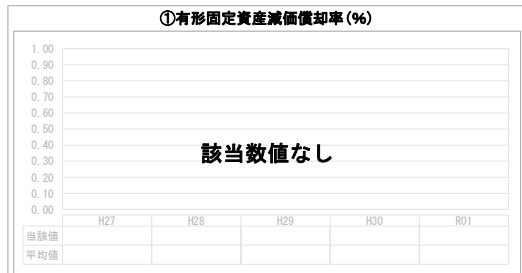
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、一般会計繰入金の減により総収益が減少したため昨年度より比率が下がり、100%を下回った。
 ④企業債残高対事業規模比率については、近年借入がなく地方債現在高が減少しているため右肩下がり推移しているが、類似団体と比較すると依然高い数値となっている。
 ⑤経費回収率については、使用料の減少と汚水処理費の増加により、近年右肩下がりとなっている。
 ⑥汚水処理原価については、汚水処理費が増加したのに対し有収水量は減少したため昨年度より上昇した。同傾向が近年続いているため右肩上がりで推移しており、経費回収率の下降にもつながっている。
 ⑦施設利用率については、処理水量の微増により比率も若干上昇したが、類似団体と比較すると低い数値で推移している。
 ⑧水洗化率については、処理区域内人口の減少により昨年度より上がり、類似団体と比較しても高い数値となっている。

2. 老朽化の状況について

令和元年度に機能診断を実施し、最適整備構想を策定した。老朽化による改修、修繕が必要な機器等については、財政状況を見ながら計画的に実施していく。

全体総括

水洗化率は上昇しているが、水洗化人口が減少しているため有収水量はH28から右肩下がりが続いている。これにより使用料収入も減少傾向である。経費回収率も100%を下回っており、一般会計繰入金に頼らざるを得ない状況が続いている。将来的には4つある処理場の一部を公共下水道に接続していくことも検討しながら、維持管理にかかる経費削減を図り、使用料収入確保のための対策が必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。